

千葉県議会議員

小宮清子

さわやかメール

小宮清子県議会報告版

No. 45

事務所 流山市平和台 2-4-3 広葉ビル 201
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp

TEL・FAX 04-7159-3781
URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com

不正経理は県庁組織ぐるみだった

2003年～07年の5年間の消耗品費だけでなんと30億円の不正経理

県庁総ぐるみ、はるか昔（40年ちかくさかのぼるとも言われている）から、業者を巻き込み行われてきた不正経理。9月県議会開会前には全員協議会での追求が行われ、9月議会では本会議、常任委員会での追及がなされました。しかし、問題の根はあまりに深く、県民への説明責任は果たされていません。

議会としては、不正経理問題調査特別委員会を立ち上げました。この特別委員会は、11月20日から本格的審査に取り組みます。

不正経理問題で大揺れの9月県議会でしたが、前自公政権・麻生政権の時代のバラマキ補正予算を受けた千葉県過去最大規模の811億円の増額補正予算に盛り込まれた雇用対策には切実さがありませんでした。

また、政権交代により建設中止に大きく舵を切った八ツ場ダム問題では、活発な質疑が展開されました。計画から50年の年月はあまりに長い。人口減、水あまり、ダムに頼らない洪水対策等、今八ツ場ダムの必要性はなくなつたとはいえ、重い課題です。



写真は10月22日、最終日
補正予算に対して反対討論を行う

（質問）存在している預金通帳の開示を求めました

が、いまだ農林水産部と県土整備部については開示されていません。情報公開すべきです。

（答弁）県土整備部・農林水産部の通帳コピーについては、情報公開条項で不開示としている「意思形成過程の情報」であると

「人事管理に係る事務」に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼす恐れのある情報」であることから開示をしない。

※通帳の開示を求めて再質問で森田知事の答弁を要求しましたが、知事は答弁せず、総務部長が非開示を繰り返すのみ。「不正経理問題の膿を出す」と知事は何度もうが、口先だけとし

不正経理問題を追求する 9月18日全員協議会 会派を代表し質問しました

か思えません。

（質問）業者に対しても県民が納得する処分をするべきと考えますが、どうか？

（答弁）業者に対しては、今回の調査以外には使用しない、また公表しない事を条件に帳簿の提出と調査への協力をお願いしており、この協力なくしてこのような経理処理の実態は把握できなかった。

（再質問）業者の情報開示をするべきと考えます。

（答弁）繰り返すと成るが、業者には今回の調査以外に使用しない、公表しない、という条件で帳簿の提出、調査協力をお願いした。プール金など、業者に渡った金品については、今後、返還を求めますが、交換されない場合には職員が負担すべきと考える。

※業者に関する情報開示についても森田知事に強く答弁を求めましたが、知事は一切答えません。総務部長の業者に配慮した答弁には、あきれざるばかりです。不正経理は、長年にわたる県庁と業者の癒着

構造そのものなのです。

（質問）石渡副知事、県庁職員同士の接待が横行していたという事は承知していましたが、今から考えてみると、全くなかったとまでは言い切れないところである。

（答弁 石渡副知事）県庁職員同士の接待が横行していたという事は承知していましたが、今から考えてみると、全くなかったとまでは言い切れないところである。

※石渡副知事は県庁生え抜きであり、県庁のことに關しては森田知事より、国から来た副知事より、国から来た総務部長より、他の部長たちより知っていると思いが、質問の矛先を向けたのですが、微妙な答弁でした。

監査委員事務局、県警にまで今回の不正経理が及んでいたことは驚くべきことです。代表監査委員、警察本部長にも質問しました。今後どこまで解明できるのか、処理はどのようになるのか、有効な再発防止策はとられるのか等々の課題があります。霧の中に置かれていたような現状から抜け出すには、長年の県庁組織ぐるみの隠蔽体質を思い切って捨て去ること、そのためには情報を隠さないことが何より重要です。今後情報公開を粘り強く求めるとともに、議会での徹底追及をしていきます。